



【やくらねこ】  
不妊・去勢手術済みの証  
の「さくらねこ」が目印。  
カットは麻酔中に行い、  
痛みはありません。



【TNR活動】野良猫の繁殖を防ぐため、不妊・去勢手術を行います。

「TNR活動」と「さくらねこ」

## めざそう、人と動物が共生できるまち

問合せ先：生活環境課環境係 ☎72-2111

- 猫の飼い主さんへ5つのお願い**
- TNR活動の対象は野良猫ですが、飼い猫であっても放し飼いにしたり、不妊・去勢手術をしなかったりすると、飼い主が責任を持ってない妊娠や家の外での繁殖で、野良猫を増やす原因になる可能性があります。
1. 室内で飼います。
  2. 不妊・去勢手術をしましょう。
  3. 迷子札をつけましょう。
  4. 絶対に捨てないでください。
  5. 最後まで責任を持って飼いましょう。

「TNR活動」と「さくらねこ」

もとはといえば人間の身勝手に飼い主や家を失い、増えてしまったケースが多い野良猫たち。恵まれない環境で暮らす猫の繁殖を食い止め、猫に関するトラブルや殺処分をなくしていく、そのために行われているのが「TNR活動」です。

TNRとは、T…捕獲(Trap)、N…不妊・去勢手術(Neuter)、R…元の場所に戻す(Return)の略。手術を行った猫は、再度の捕獲を防ぐため、耳の先を桜の花びら型にカットして見分けられるようにします。この「さくらねこ」は一代限りとなり、これ以上増えることはありません。

現在「TNR活動」「さくらねこ」の取組は、全国各地で広がっています。

「やくらねこ」を知っていますか

「やくらねこ」とは、不妊・去勢手術を受け、そのしるしとして、耳の先を桜の花びら型にカットした野良猫のこと。でも、なぜわざわざ野良猫にそんなことをするのでしょか。

この活動の背景には、飼い主がいないう猫が、福岡県だけでも年間1,800匹以上も殺処分されている(平成29年度)という現実があります。

**野良猫はなぜ増える？**

そもそも野良猫はなぜ増えるのでしょうか。原因の一つは、猫を捨てる人がいること。動物愛護法では、飼い主がペットを終生飼うことを努力義務として定めていますが、捨てられてしまう猫は後を絶ちません。

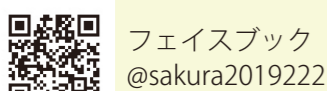
加えて最大の原因は、野良猫の繁殖です。野良猫の寿命は飼い猫と比べて短く、平均3〜5年といわれていますが、1年に2〜3回の出産機会があり、その子猫がまた子猫を産み…こうして増えていく野良猫は、ふんや尿による悪臭やごみあさりなどのさまざまなトラブルのもとにもなっています。

やむを得ない事情で保健所に引き取られた猫は、新しい飼い主や譲渡先が見つからない場合、殺処分されます。殺処分数は年々減少していますが、依然として高い水準にあります。

# さくらねこってなあに？

「猫ブーム」で猫の飼育数が増えている一方、日本では毎年数万匹の猫が殺処分されています。また、猫に関するご近所トラブルも後を絶ちません。この状況を変えるために生まれた試みの一つが「TNR活動」と「さくらねこ」。猫の愛護活動について知り、人と動物が共生できる小郡市をめざしましょう。

「さくらねこサポートOGORI」の活動の様子はフェイスブックやツイッターで随時発信しています。興味のある人はぜひご覧ください。



フェイスブック  
@sakura2019222



ツイッター  
@sakura\_2019222



【譲渡会】開催はSNS  
でお知らせしています



【啓発活動】駅前でのチラシ配布



新しく  
おしり  
に  
かぶ  
せ  
て  
や  
り  
ま  
す



【TNR活動】野良猫の捕獲は、傷つけないよう慎重に行ないます

こんな活動をしています

TNR活動のほか、保護された猫に新しい飼い主を探すための譲渡会、野良猫との関わり方や動物虐待防止についての啓発活動などを行っています。

保護猫の預かりボランティアなど、さまざまな関係団体や機関と協力して活動しています。

※「市民提案型協働事業」とは  
小郡市と市民活動団体が協力して、地域の課題を解決するための取組です。詳しくは市コミュニティ推進課コミュニティ推進係までお尋ねください。(本館2階 ☎72-2111)

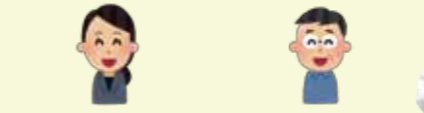
解決したい課題があるのに専門知識がないし、人材もない…

資金や運営で困っている。それに、活動をもっと多くの人に知ってもらいたい…



資金・広報面で市役所が協力！活動への助言もできますよ！

専門知識や熱意のあるメンバーが、地域の課題解決のために活動します！



小郡市内でTNR活動を行う団体に聞きました「やくらねこサポートOGORI」

私たちは、不幸な猫がこれ以上増えないよう、猫に一代限りの命を全うしてもらおうためTNR活動をしています。この活動は、(公財)どうぶつ基金をはじめ、全国各地で行われているものです。

猫と人が共生できるまちをつくりたいと考え、令和元年5月に団体を設立。市の市民提案型協働事業(※)に提案・採択されました。現在スタッフ約10人で、仕事の後や土・日曜を中心に活動しています。

野良猫は、交通事故や感染症などの危険にさらされる過酷な環境で暮らしています。カラスに食べられたり、病気で死んでしまったりする子猫の悲惨な状況をたくさん見てきました。皆さんにもその現状を知ってもらい、活動にご理解とご協力をいただければ幸いです。



「さくらねこサポートOGORI」の皆さん